

Shibboleth経由でEリソースを利用する (図書館向け)

国立情報学研究所学術基盤推進部
学術コンテンツ課 阿蘇品治夫

ShibbolethによるEリソース利用までのステップ

準備

- IdP立上げ
- 運用フェデレーションへの参加

申請

- Shibbolethによる利用をベンダに申請
- 申請内容, 方式は各社ともほぼ共通

利用

- 学内周知
- 利用開始

接続申請の具体例（5社）

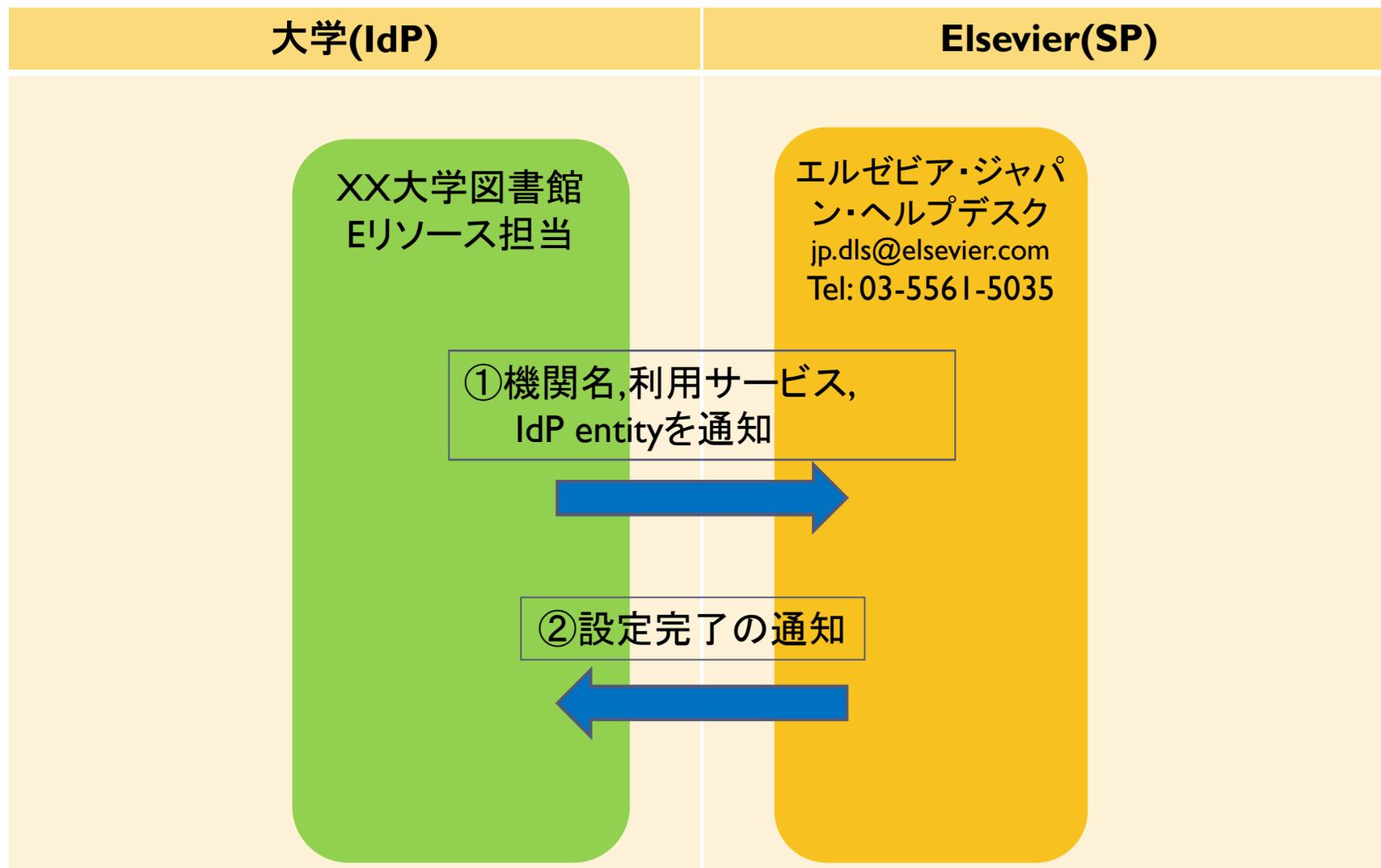
- ▶ Elsevier (ScienceDirect, Scopus)
- ▶ Ovid (OvidSP)
- ▶ Springer (SpringerLink)
- ▶ Thomson Reuters(Web of Knowledge, EndNoteWeb)

※アルファベット順

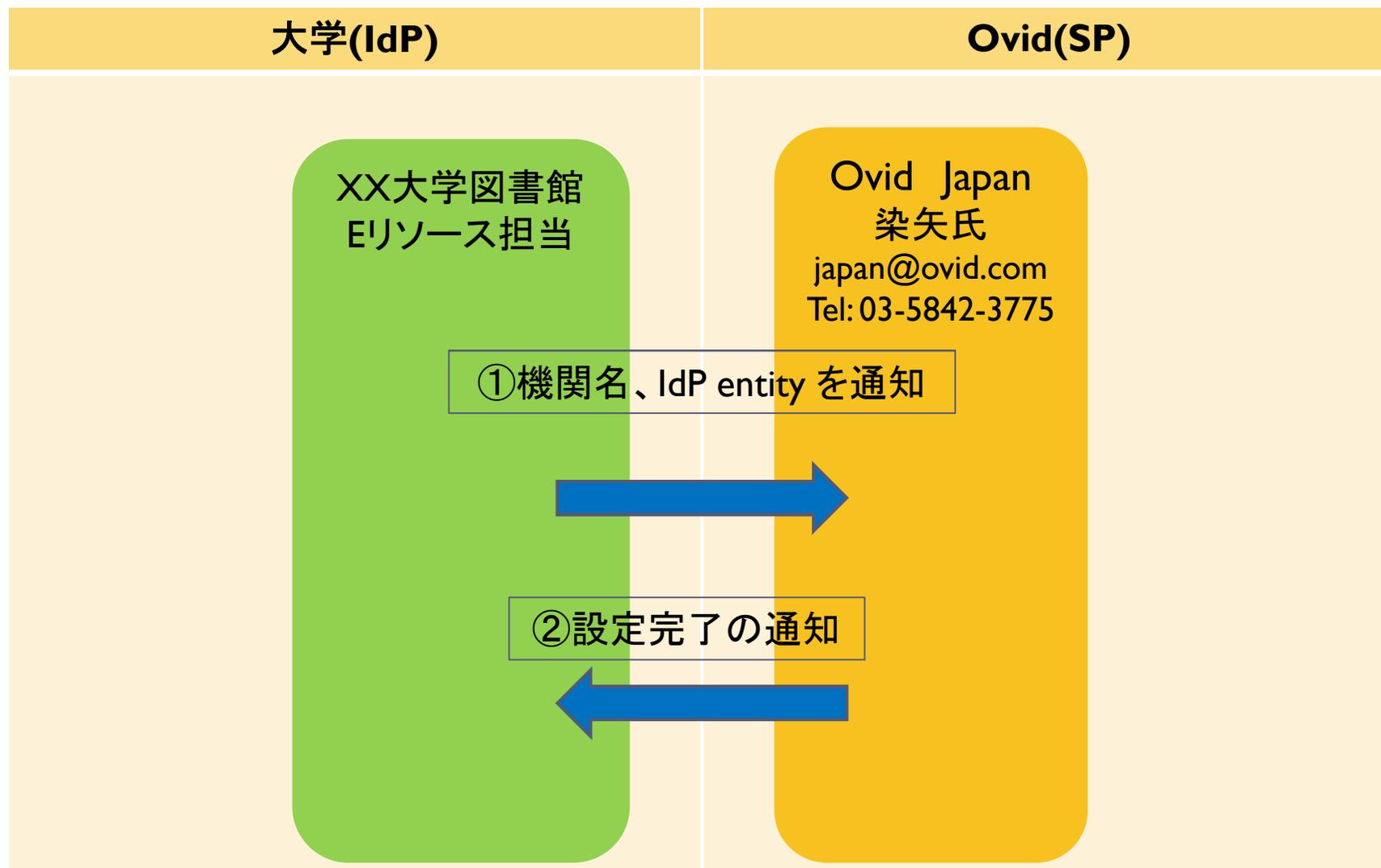
- ▶ NII(CiNii)
-



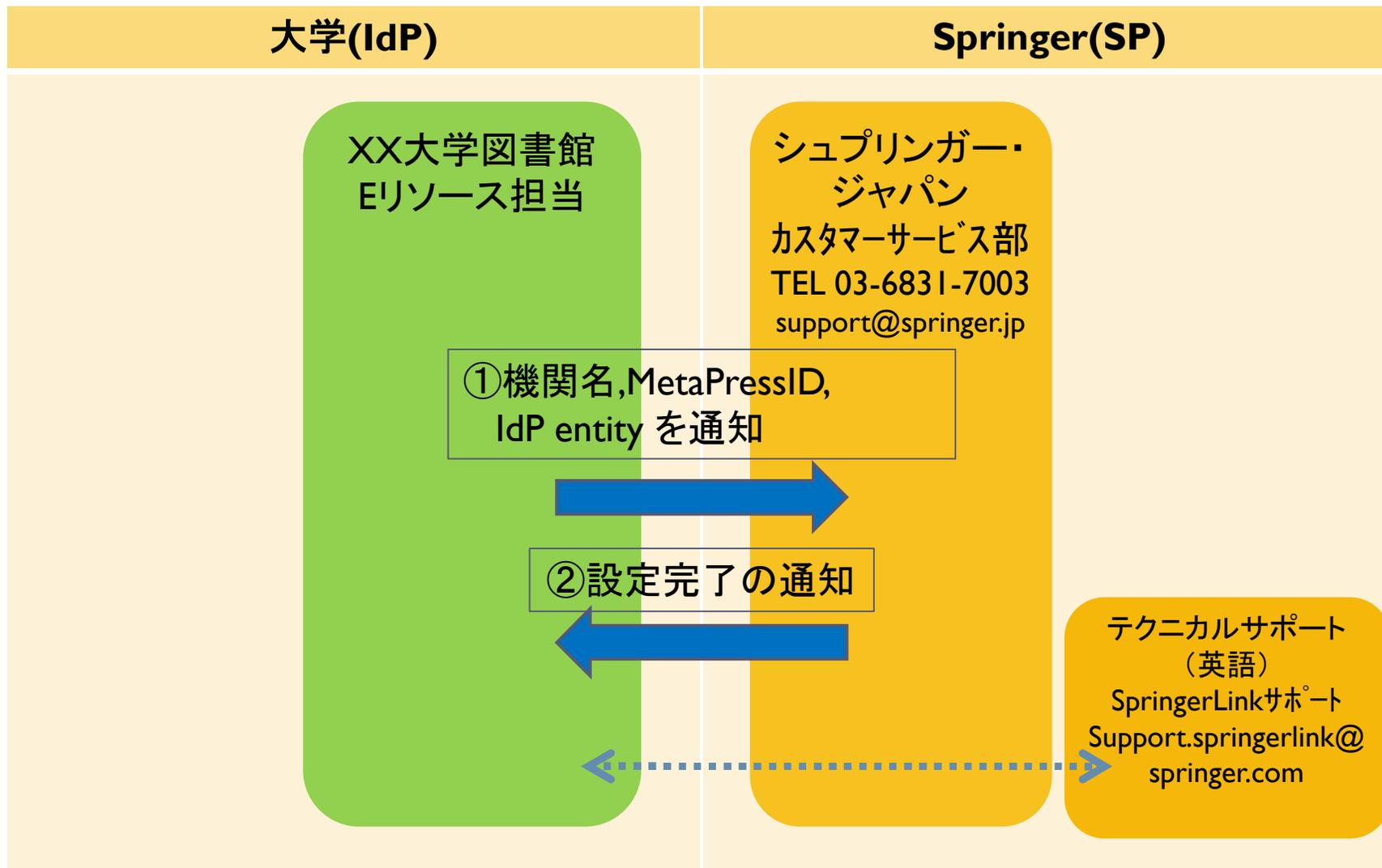
Elsevier(ScienceDirect,Scopus)の場合



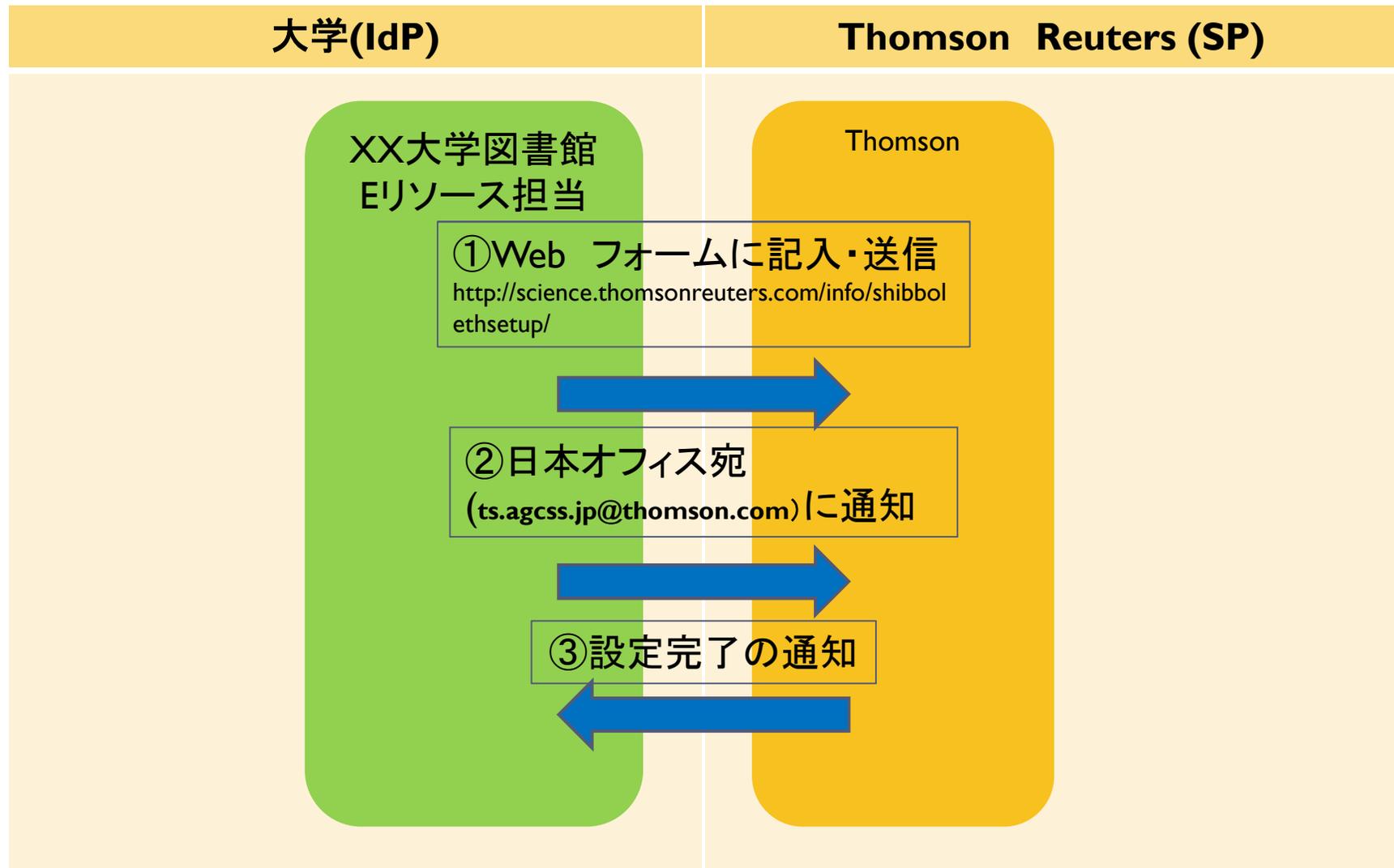
Ovid(OvidSP)の場合



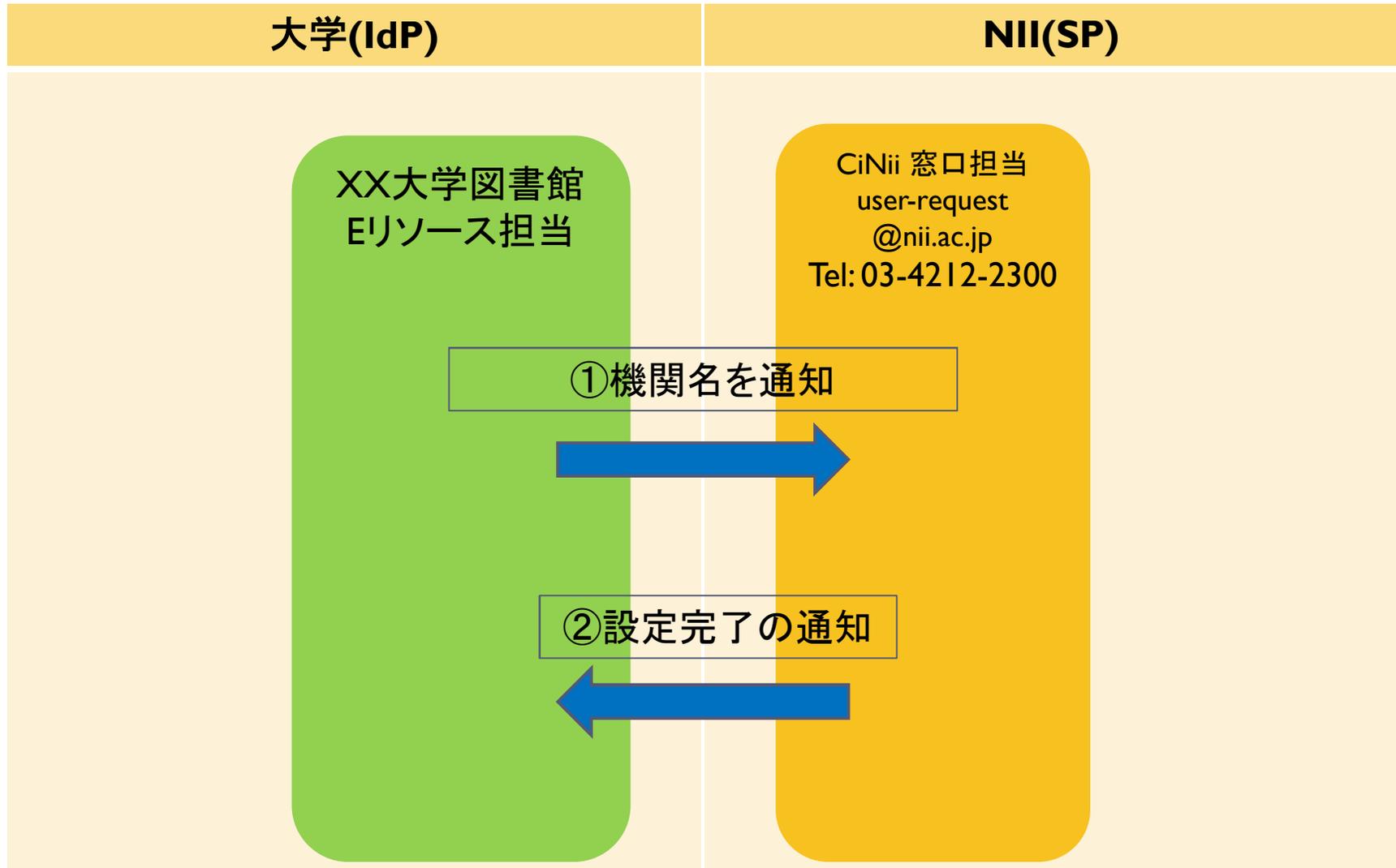
Springer(SpringerLink)の場合



Thomson Reuters (Web of Knowledge, EndNoteWeb) の場合



NII(CiNii)の場合



テストフェデレーション参加中or参加検討中のベンダ

(海外)

- Refworks
- EBSCO
- CUP

(国内)

- 医中誌Web
- Japan Knowledge

etc.....

図書館、IdP管理者向けの情報

- ▶ <https://upki-portal.nii.ac.jp/docs/fed/technical/connect/sp>
 - ・各SPへの接続マニュアルを掲載。
 - ・フェデレーション参加SPの更新情報をMLで随時告知。
 - ・ここを見れば、とりあえず全SPへの接続方法がわかる、というページにする。

